

賢い人はどこが違うのか？  
デフレ世紀をどう生きればいいのか？

総力特集

# サラリーマンが 一生困らないための 「お金の教養」

どれくらい貯蓄をしておくべきなのか？ 家を買うべきか、借りるべきか？  
年金が破綻したら老後はどうなる？……お金の不安を解消できるノウハウが満載！



## 第1部 マネーの賢人たちの「お金の授業」

頑張って働いても給料がアップするどころか、ズルズルと収入が減っていく昨今……。多くの人が、「このままで将来は大丈夫なのだろうか？」と不安を感じているはず。そこで本特集では、本誌連載でもお馴染みの凄腕ファイナンシャルプランナー・藤川太氏に「お金の不安」の実態と対処法を解説してもらうとともに、独自の「マネー哲学」をもつ経営者やコンサルタントに、読者に役立つ「お金の接し方」を講義してもらった。また、3人の「お金の専門家」は、Q&A形式で「よくあるお金の悩み」について解説。不安が解消され、「お金の苦勞しない体質」へと変わるヒントが満載！

そこが知りたい「お金の不安」を解消するQ&A ..... P.22

泉 正人 (日本ファイナンシャルアカデミー代表) / 横山光昭 (家計再生コンサルタント)  
午堂登紀雄 (米国公認会計士)



## 第2部 誰も教えてくれなかった 失敗しないマネー術

ILLUSTRATION : 藤山英幸

# 「お金の問題」を解決できる人vs.できない人



資料：小堺桂悦氏へのインタビューをもとに、編集部が作成

「収入増」「支出減」「借金」のなかから、正しい解決方法を選ぶ

問題が解決し不安も軽減する

場当たり的な借借金など、正しくない解決方法を選択してしまう

問題をさらに悪化させてしまう

資料：小堺桂悦氏へのインタビューをもとに、編集部が作成

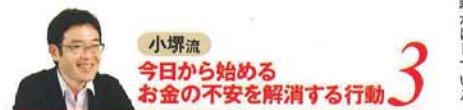
「収入増」「支出減」「借金」のなかから、正しい解決方法を選ぶ

問題が解決し不安も軽減する

場当たり的な借借金など、正しくない解決方法を選択してしまう

問題をさらに悪化させてしまう

問題をさらに悪化させてしまう



小堺流 今日から始める お金の不安を解消する行動

- 「いくら貯蓄が欲しいのか？」と考える  
「収入が〇〇円足りない」「〇〇円は貯蓄が欲しい」と具体的な数字で考えてみる。お金についての漠然とした不安を、具体的な問題に置き換えることができれば、解決手段が見つかる。
- 「借金」という選択も考える  
自分の「収入のアンバランス」を解決するのは、「収入増」「支出減」が基本。しかし、場合によっては「借金」も有効な解決方法になる。先入観をもたずに冷静に考える。
- 銀行通帳をしっかりとみる  
銀行通帳で毎月の収入と支出を確認してみれば、多くの人が、自分が思っている以上の金額を使っていることに驚くはず。そうして思い込みと現実のギャップを確認することが第一歩になる。

取材・構成 宮内 健  
写真撮影 片桐 圭

て、二百万円程度のクルマを買おうという場合、多くの人が「ローンの金利がもったいないから現金で買おう」と考えると思います。しかし、私はその三百万円は銀行に預けたまま、ローンでクルマを買うことを勧めます。なぜなら、給料が下がったり、病気をしたりすると余剰がなくなるからです。そして「お金がなくなる借金」をせざるを得なくなる。体験した人しかわかりませんが、この借金はほんとうにつらい。そうならないために、ローンの金利は一種の保険料と思って、手許にある程度自由になるお金をもっておくことは必要だと思えます。

自分の支出を直視して愕然としてみるという

小堺さんは銀行や税理士事務所にお勧めでしたら、そのころからお金をしっかりコントロールできていたんでしょうね。

小堺 いや、じつはそんなことはないんです。仕事で億単位のお金を扱っているとき金銭感覚が麻痺してしまってますよ。それに当時は、早く一人前になりたいという気持ちもあって、自分より年齢も社会的地位も上の方々と付き合い合ったり、資格取得の勉強をしたりして出費が多く、ギリギリの生活でした。実家に仕送りもしていましたから、自分が動いている銀行のカードローンによくお世話になっていましたよ。突如、転職を考えたのは、そのローンを返済するには、もっと収入のいい仕事に就かなくてはならなかったからです。

たのでしょか。

小堺 さすがに、独立してお金が底を突きはじめた。エンドですか、そうならないように資金繰り表をつくりましたよ。金融機関ですつと働いていたわけですから、そんなものはなくても大丈夫と思っていたんですが、やはり頭のなかで打てはダメなんです。エクセルだけ打ち出しても、よくよくチェックして自分の会社のお金の流れがみえてきたのをよく覚えています。私はこれまで資産家といわれる人をたくさんみてきましたが、そういう人たちに共通しているのは「帳簿にうるさい」ということ。豪快に遊んでいる人でも、帳簿はしっかりとっていました。逆に、資金繰りで困っている会社の経営者は、やはり帳簿を疎かにしている場合が多かったですね。

「いくら貯蓄が欲しいのか？」と考える

「収入が〇〇円足りない」「〇〇円は貯蓄が欲しい」と具体的な数字で考えてみる。お金についての漠然とした不安を、具体的な問題に置き換えることができれば、解決手段が見つかる。

「借金」という選択も考える

自分の「収入のアンバランス」を解決するのは、「収入増」「支出減」が基本。しかし、場合によっては「借金」も有効な解決方法になる。先入観をもたずに冷静に考える。

銀行通帳をしっかりとみる

銀行通帳で毎月の収入と支出を確認してみれば、多くの人が、自分が思っている以上の金額を使っていることに驚くはず。そうして思い込みと現実のギャップを確認することが第一歩になる。

## 現状を直視して「収支のバランス」を見直そう!

# お金の流れをきちんと記録し目を背けない

お金の問題をなくすには三つの方法しかない

小堺桂悦氏は、銀行、税理士事務所勤務を経て、現在は「資金繰りコンサルタント」として活躍する人物。企業経営の現場では「融資の都合がつかなければ倒産する」といった切迫した状況も決して珍しくない。そんなシビアなお金の問題にいくつも直面し、解決に導いてきた小堺氏ならば、きれいな事ではないが、小堺氏のお金の哲学を聞かせてくれるはずだ。

——経営者であってもサラリーマンであっても、「お金に関する不安」を抱えている人は多いですよ。どうしたら、その不安をなくすことができるのでしょうか。小堺 そんな方法があるなら……

### お金の不安を解消するヒント

「不安」の解消は難しいが「問題」は解決できる

「お金の問題」に対処する手段は3つだけ

落ち込むことがとても大切

ちがが教えてもらいたいぐらいです。私も自分の事務所を立ち上げて商売していますが、「この先何年やっていけるだろう」と考えると不安になります。こういう将来に対する漠然とした不安は、完全に解消することはできないでしょうね。「十分なお金が貯まれば、きっと不安はなくなるはず」という考えもありませんが、お金があると「失

う不安」が生まれるのです。優良企業の経営者が、「このまま会社が続けられるかどうか心配なんだよ……」とつぶやくのを私は何度も聞きました。

とはいえ、「漠然とした不安」ではなく、具体的な「お金の問題」であれば、解決方法を考えることができます。たとえば、「いまの給料では生活費が足りない」「ある程度は貯蓄がまったくできない」というようなケースです。

——どういった対処法が考えられますか。

小堺 抱えている問題は人それぞれでも、お金の問題の本質は「収支のアンバランス」にあります。あとはそれが顕在化する時期が早いか遅いかの違いだけです。そして、その収支のアンバランスを解決する方法は三つしかありません。一つ目は「収入を増やす」こと。二つ目は「支出を減らす」こと。三つ目は「借りを増やす」こと。三つ目は「借りを増やす」こと。三つ目は「借りを増やす」こと。三つ目は「借りを増やす」こと。

「収入が〇〇円足りない」「〇〇円は貯蓄が欲しい」と具体的な数字で考えてみる。お金についての漠然とした不安を、具体的な問題に置き換えることができれば、解決手段が見つかる。

「借金」という選択も考える

自分の「収入のアンバランス」を解決するのは、「収入増」「支出減」が基本。しかし、場合によっては「借金」も有効な解決方法になる。先入観をもたずに冷静に考える。

銀行通帳をしっかりとみる

銀行通帳で毎月の収入と支出を確認してみれば、多くの人が、自分が思っている以上の金額を使っていることに驚くはず。そうして思い込みと現実のギャップを確認することが第一歩になる。



資金繰りコンサルタント 小堺桂悦郎

1964年、宮城県生まれ。パブリック系といわれた1980年代後半から金融機関の融資係として過ごしたのち、大手税理士事務所に転職。金融機関での経験に基づき、銀行対策を含めた資金繰りコンサルティング業務に従事する。2001年末に独立し、2002年4月(有)小堺コンサルティング事務所を設立。資金繰りコンサルタントとして活躍している。著書に「なぜ、社長のヘンツは45才なのか?」「借金/バザール」(ともに、フォレスト出版)。「はじめは中古のBMWに乗りかえり(釣金倉)」などがある。